

2025年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 人文社会コース

(第2次) 入試問題

【 社会学 】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 3 ページ, 解答用紙 4 枚, 下書き用紙 4 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

社会創成専攻 人文社会コース 社会学 問題
(外国人留学生特別入試)

【1】～【3】について、それぞれ答えなさい。

【1】「家族の個人化」について、社会学者がこれまでどのような議論を展開してきたかに言及しつつ、説明しなさい。そのうえで、それらの議論の問題点を指摘しなさい。なお、解答は【1】と書かれた解答用紙に記入すること。

【2】計量分析の手法の一つである多変量解析とはどのような分析か。具体的な例を示したうえで、その意義について説明しなさい。なお、解答は【2】と書かれた解答用紙に記入すること。

社会創成専攻 人文社会コース
(外国人留学生特別入試)

社会学 問題

【3】 次の文章を読み、以下の2つの問いに答えなさい。なお、解答は【3—①】【3—②】と書かれた解答用紙に記述すること。

- ① 下線部(a)に関して、「意味問題あるいはアイデンティティ問題をめぐる精神的混乱の中にあった」著者が、なぜ「マックス・ヴェーバーの社会学を宗教社会学に力点を置きながら取り上げる折原氏の講義」に魅力を感じたのか、理由を考察しなさい。
- ② 下線部(b)に関して、社会学がもつ「正当性の問い直し」「自明性の問い直し」という視点とはどのようなものか、具体例を交えつつ論じなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

社会創成専攻 人文社会コース
(外国人留学生特別入試)

社会学 問題

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

船橋晴俊『社会学をいかに学ぶか』(弘文堂) より一部改変。